

平成30年第1回

山都町議会定例会

提案理由説明書

平成30年3月5日

平成30年第1回定例会を招集しましたところ、御参集賜り、誠にありがとうございます。最近の町政の動向及び今定例会に提案いたします議案についてご説明申し上げます。

今年の冬は、例年にない降雪に見舞われ、先月10日の大雪では、ビニールハウスの倒壊など農業施設に大きな被害をもたらしました。生活面におきましても水道の断水、漏水や道路凍結によるコミュニティバス運休に伴う、小中学校の臨時休校など、町民の生活や生産活動に大きな支障を来しました。被災された方々はじめ町民の皆さまに、心よりご慰労とお見舞いを申し上げます。

農業施設被害につきましては、復旧支援に関する補正予算案を提案しており、迅速に対応して参る所存です。

新年より、各地・各団体の初会や総会、祭・イベントにご案内を頂き、可能な限り出席をして参りました。元気に活動されている地域がある一方で、疲弊してきている地域もありました。こうした状況をまの当たりにし、地域の自立・共助の重要性とともに、地域や町民の方々に対する支えの必要性についても、改めて感じたところです。

1月4日に、114名の新成人の参加を得て成人式を開催しました。

代表者の誓いの言葉では、「社会の一員としての自覚とともに、自分や人の命を大切にしていきたい。」とありました。新成人の皆さんには、そのような想いを強く持って立派な社会人になってもらうことを切に願うとともに、ふるさと「山都町」に誇りを持ち続けていただきたいと思いました。

新成人の皆さんが、たとえ進学や就職で、町を離れることがあっても、将来、この町に戻ってきていただけるよう、居住環境や就業環境の整備にしっかりと取り組まねばならないと強く感じました。

次に、行財政改革についてであります。

老人ホーム「浜美荘」については、民間法人への移管準備を進めておりますが、4月1日の移管に向けて、入所者へのサービス低下や御家族の不安を招かないように、連携を図りながら双方のスタッフによる引き継ぎを行っております。

なお、移管法人に対しては、職員の継続雇用、調達物品や請負業務等の町内発注について、極力配慮をいただくよう求めております。

矢部高校の応援につきましては、応援町民会議での議論や学校との協議を踏まえ、新年度から、一層の支援充実を図るため、所要の予算を提案しております。

近年、各方面での矢部高生の活躍を目にするにつけ、大変誇らしく思うとともに、郷土の高校として矢部高校の更なる魅力化に向け、町としても全力を挙げて応援していく所存です。

さて、蘇陽地区では、年明けから各地の神楽が結集する「九州山地神楽祭」や、地元の白石、仁瀬本神社、高畑阿蘇神社の神楽が開催されました。私も舞い手や楽曲の皆さんと交流をして参りましたが、地域に引き継がれる伝統文化は、単に芸能の存続に留まらず、地域コミュニティの形成や地域を担う人材の育成に大きく寄与しております。

また、今月24日には、清和文楽館において、能と人形浄瑠璃の共同公演が企画されています。本町には、地域の宝ともいえる多くの伝承文化が継承されております。この機会には是非とも多くの皆さまに鑑賞して頂きたいものだと思っております。

震災で漏水しておりました通潤橋については、鋭意、復旧工事を進めております。伝統的な工法や材料によって施工しているため時間を要していますが、出来るだけ早い時期に放水を再開できるよう取り組んで参ります。

次に、町にとって貴重な自主財源となっております「ふるさと寄附金」についてであります。平成27年度に1億円を突破し、本年度は、2月末現在で、約1億4千万円となっております。寄附を頂きました皆様には、衷心より感謝を申し上げます。

ふるさと寄附金につきましては、地場産品の育成・振興はもとより、本町の情報発信の一手段として、有効活用を図るとともに、多くの皆様に引き続き応援していただけるよう、広報の充実など、さらなる取り組みを目指します。

次に、農林業の振興についてであります。

各地域では、農地の減少や耕作放棄地の増加、農林業従事者の高齢化が進行しております。農業構造のぜい弱化が進むなか、有害鳥獣の被害も拡大しており、農家の生産意欲が減退する現状となっております。

そのような中、新規就農者や後継農林業者については、国・県の各種制度事業などで支援をしているところではありますが、その後、かなり高い率で農林業に定着している状況があります。

農林業基盤の整備と経済効率性の高い経営形態を示し、農林業経営の将来に期待が抱けるものであるならば、これからも農林業に対して、希望を持つことが出来るものと思っております。

また、本町は「有機農業発祥の地」として、昨年、県下市町村に先駆けて「グリーン農業推進の町」宣言をいたしました。今後も、高付加価値のある農林業生産を支援して参ります。

一方、国において導入が検討されている森林環境税については、高い関心を持って検討の推移を見守っております。荒廃が進みつつある森林の公益的価値が改めて評価され、この財源が森林所在自治体に十分に配慮した配分がなされるよう求めていきたいと思っております。

次に、重点プロジェクトとして掲げております若者定住促進については、役場旧浜町事務所跡地を定住住宅地として分譲することで制度設計を進めてまいりました。

新年度において、造成及び水道管の敷設などの付帯工事を行い、なるべく早い時期に分譲ができるよう進めております。

中央体育館の移設については、総合体育館整備推進委員会から候補地の選定について答申を頂いたところです。先々を見据え、様々な条件も検討しながら、判断していきたいと考えております。

次に、九州中央自動車道については、新年度中に、北中島地区長谷まで開通し、本町において初となるインターチェンジの供用が開始されます。

また、本年2月に九央道に15億円の補正予算が措置され、蘇陽・高千穂間のルート選定を含む国の小委員会も同月に開催されるなど、新たな段階に進むことになりました。九央道は、生活、物流、観光さらには防災面において、九州の横軸が強靱化される基盤整備であります。これを絶好の好機と捉え、観光客の増加などに向けた取り組みを行い、地域経済の浮揚につなげたいと考えております。

「情報基盤整備事業」については、4月中に町内全域において光ケーブルの敷設が完了します。観光協会では、先行してWi-fi（ワイファイ）を浜町商店街に整備されました。町も総務省の補助事業を活用し、観光拠点施設や防災拠点施設においてWi-fi整備を進めることとしております。

また、全ての小中学校にタブレットを配置し、ITを活用した教育の充実を一層進めたいと考えております。

現在、平成30年度からの町の情報化計画の策定を進めており、この計画に基づいて、商工業や農林業などの生産経済活動をはじめ、観光振興、移住定住、教育分野などでの多様な面でITの活用を図って参ります。

次に、総合計画に掲げた5つの柱の実現を目指して町政を進めているところでございますが、平成30年度予算については、町長として、初めての本格予算の編成となりました。

先に来年度以降の実施計画をお示ししたところですが、厳しい財政状況の中ではありますが、町の課題を解決するために、早期の災害復旧復興を図るための農林・商工観光事業、移住定住の推進、子育て環境の充実、高齢者支援などの福祉向上、環境に優しいまちづくり及び防災体制の再構築などについては、重点的に予算配分しております。

詳細については、予算審議の中で説明させていただきます。

次に、今定例会に提案しております議案についてご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は、条例7件、補正予算4件、当初予算9件、その他案件12件です。

議案第6号及び議案第7号は、施設の老朽化に伴う維持管理や利用者の安全確保の観点から、山都町営プール及び山都町高齢者生産活動センターを用途廃止するため、条例の廃止を行うものです。

議案第8号は、現行の環境保全型農業制度から、県のくまもとグリーン農業制度に統一して取組むため、山都町環境保全型農業推進条例を廃止するものです。

議案第9号は、高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、山都町後期高齢者医療に関する条例の一部改正を行うものです。

議案第10号は、国民健康保険法の一部改正に伴い、山都町国民健康保険条例の一部改正を行うものです。

議案第11号は、平成30年度から同32年度までの各年度における保険料率等を定める必要があるため、山都町介護保険条例の一部改正を行うものです。

議案第12号は、介護に係る関係法律の施行に伴い、新たに山都町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例を定めるものです。

次に、議案第15号は、平成29年度山都町一般会計補正予算第5号です。

本年1月の大雪により被害を受けた農業用ハウス等の復旧対策事業費及び過年度農業施設災害復旧費を中心に、28億2,800万円の増額補正を行い、補正後の額を188億2,400万円とする予算を編成しました。

議案第16号の平成29年度山都町国民健康保険特別会計補正予算第2号及び議案第17号の平成29年度山都町介護保険特別会計補正予算第3号については、それぞれ納付額等の確定に伴い、予算の補正を行いました。

議案第18号は、工事費の減額による平成29年度山都町簡易水道特別会計補正予算を計上しました。

続いて当初予算です。

議案第19号の平成30年度山都町一般会計予算については、本町復興計画に基づく熊本地震及び豪雨災害からの復旧、復興事業の速やかな実施と、町政の重点事項に配意し、総額115億2,200万円の予算を編成しました。

主な内容は、移住、定住促進に向けた下馬尾分譲住宅地造成事業に、7,400万円、地域の特性を活かし活力ある社会形成のため、農産物ブランド推進化事業や食農観光塾事業を展開する地方創生事業に3,667万円、被災宅地復旧支援事業等、熊本地震復興基金交付金事業に1億3,781万円計上しました。

さらに、町道、林道及び農地等の復旧費として4億9,080万円を計上したところでは、

議案第20号の平成30年度山都町国民健康保険特別会計予算については、26億9,626万円の予算を編成しました。

議案第21号の平成30年度山都町後期高齢者医療特別会計予算については、2億4,108万円の予算を編成しました。

議案第22号の平成30年度山都町介護保険特別会計予算については、28億9,415万円の予算を編成しました。

議案第23号の平成30年度山都町国民宿舎特別会計予算については、7,350万円の予算を編成しました。

議案第24号の平成30年度山都町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算については、464万円の予算を編成しました。

議案第25号の平成30年度山都町簡易水道特別会計予算については、7億3,213万円の予算を編成しました。

議案第26号の平成30年度山都町水道事業会計予算については、収益的収入・収益的支出いずれも8,784万円、資本的収入38万円、資本的支出として4,653万円の予算を編成しました。

議案第27号の平成30年度山都町病院事業会計予算については、収益的収入・収益的支出いずれも10億4,977万円、資本的収入5,028万円、資本的支出として1億6,324万円の予算を編成しました。

議案第13号は、事業計画変更に伴う、山都町辺地総合整備計画の変更です。

議案第14号は、町営住宅使用料に係る債権の放棄を行うものです。

議案第2号は、町道3路線の廃止、議案第3号は、町道6路線の認定に係るものです。

議案第4号、議案第5号、議案第28号及び議案第29号の4議案は、工事請負契約の締結に係るものです。

議案第30号及び議案第31号は、町有財産の無償貸付に係るものです。

同意第1号の山都町教育長任命について同意を求める件は、山都町教育長が、本年3月末日をもって任期満了となりますので、教育長の任命について議会の同意を求めるものです。

同意第2号の山都町教育委員任命について同意を求める件は、教育委員4名のうち1名が、本年3月25日をもって任期満了となりますので、委員の任命について議会の同意を求めるものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切な決定をいただきますようお願いいたします。